|  |
| --- |
|  2023第1,2,3 RUTC答え25(7)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net |
| 2023年2月18日週間祈りカード |
| △産業宣教契約を握った産業人(イザ6:13) | △レムナント伝道学心を定めたレムナント(ダニ1:8-9) | △核心福音の力をあらかじめ持って現場に向かった者たち(ダニ6:10) | △散らされた弟子たち目に見えない70地教会を立てなさい(使6:1-7) |
| 成功した人々は、中高生の時に入ったことがすべて。レムナントは、自分も分からない大きな答えが準備されている。□序論\_答え個人が答えを受ければ良い。教会で次世代を育てて世界宣教して生かさなければならない。1.まず知ること1)ネフィリム体験　2)ネフィリム文化　3)ネフィリム経済△代表的なところがヨーロッパ、アメリカだ。未信者がネフィリムという単語を知らずにサタンに捕われていて、教会がさらに分からない。これを分からなければ、現場の産業人は、仕える2.見えない力1)霊的事実と原理-見えない力の中にある霊的な事実と原理を価値あるように見るべき(1) 3・ 9 ・3 -三位一体の神様がともに(みことば、救い、力)、御座の祝福(3超越、3いのち、3空前絶後)、3時代(すべてを生かす)(2)宇宙の力- 「空中の権威を持つ者、天にいるもろもろの悪霊」に勝つ宇宙の力を与えてくださった。(3)いやしの力2)祈りの原理　　(1)考え　(2)たましい　(3)永遠△考え、たましい、永遠とつながる。たましいがネフィリムか、神様かによって未来が左右3)プラットフォーム・見張り台・アンテナ-この力を味わえばプラットフォーム、見張り台、アンテナとなる。3.確実な絵がCVDIPだ。1)答えが持続(編集)して出てくることを編集と言う。2)祈りの課題が持続的(設計)に出てくることが設計だ。3)現場適用持続(デザイン)なることがデザインだ。□本論\_三つ1.滅亡と未来1)神殿破壊の理由を知っている2)捕虜になった理由を知っている。3)未来(イザ6:13、7:14) -神様が与えられた未来を知っている。レムナントに持続的に福音を話すのだ。すると、続けて答えが来る。2.みことば1)力(イザ40:1-8)があって、すべてに勝つ。2)成就(イザ40:10-26)みことばの成就について出てきた。3)主役(イザ40:27-31)みことばの主役にイザ40:27-31の事が起こる。3.使命者1)イザ43:19-21神様の働きが起こるだろう　2)イザ60:20-223)イザ62:6-12見張り人として立てた。□結論これから三つの時代がくる。知ってセッティングしなさい1.AI時代　2.生命工学時代-病気になったので生命工学時代が来る。3.非対面時代-レムナントは非対面時代に備えなければならない。 | □序論\_やぐらの始まり1.ポイント1)生活集中するポイント2)それでこそ、学業集中するポイントができる。3)未来に対する絶対ポイントが見えること2.祈りの基準1)霊的システムが作られれば世界福音化できる。レムナントの時に作ってこそ、世界を動かせる2)苦しみ、答え関係なく常に味わうシステム3)刻印(根、体質) -レムナントのとき、1、2回したことが刻印される。3.サミット1)霊的サミット、今、祈れば必ず来る2)学業が霊的サミットの中で出て来るのを技能サミットという。3)この二つが合わされば現場が見える。文化サミットだ。□本論\_参考1.世界観1)世の国は衣食住しか分からない2)サタンの国(暗やみ) -暗やみ文化、暗やみ経済3)神の国は一単語で話せば光だ。2.理由1)なぜ強大国なのか2)なぜ237か国奴隷になっているのか3)イスラエルを237に送っておいてその中にレムナント(RT)がいるように3.心1)プラットフォーム(答え) 　2)見張り台(応答)　3)アンテナ(解答)□結論\_時刻表1.過去-土台　2.今日-未来3.未来- 3・9・3作品 | あらかじめ福音の力を持って現場に行かなければならない。□序論\_全体、土曜核心、講壇深い時間(毎日) -必ず全体メッセージの流れ、核心、講壇のみことばを聞くことを握って一日に一回程度は深い時間を持つべき答え(聖日) -聖日には、時代的な答えが出てくる。そうすれば霊・肉ともにすべてが回復1.祈りサミットあらかじめ(イザ6:1-13)「いつものように」祈りのサミットがあらかじめできた。1)御座の神様　　2)セラフィムが仕え　3)未来-「切り株が起こるようになる」△霊、肉、すべての部分回復。一日に一度はしなさい。霊的問題がある人々は治そうとせずに、ここに入りなさい。神様の前で一生用いられるる人々は、契約を握った。一生伝道するのは、祈りの答えがなければならない。2.みことばサミットあらかじめ1)イザ40:1-31永遠に立つ神様のみことば、ただ主を待ち望む者は新しく力を得る。2)イザ43:19-21荒地に水を、川に道があるようになって、獣も主をほめたたえるようになる。3)イザ60:1-22起きて光を放つだけで良い3.伝道サミットあらかじめ1)イザ6:13レムナント、聖なるすえ　2)イザ7:14この祝福を伝達3)イザ62:6-12見張り人□本論\_事件-捕虜(心)みことばを深く黙想して、力と答えを得なければならない。霊的力を得るときにいやされる。1.証人として出て行くこと-レムナントのときに分かれば、必ず世界福音化するようになる。1)知っている者　　2)見た者　　3)持った者2.世の中を生かしに行く-いつも味わうそのまま(契約を握っていれば答えが来る)1)ダニ3:8-24３人の青年　　2)ダニ6:10-22ダニエル　3)エス4:1-16エステル3.絶対計画を伝達しに行くこと1)捕虜預言　　2)捕虜理由　　3)世界福音化すること△なぜ神様が私をここに送られたのかだけ握りなさい。問題が起きたとき、待って神様のみことばを握れば良い。□結論\_旅程1.20の戦略(マルコの屋上の間) – 20の戦略はマルコの屋上の間が何か分かれば始まる。2.12使徒(副教役者)立てた理由-教会の副教役者の重要性を知るようになる3.70人(重職者)弟子を立てたこと- 70倍の祝福と重職者が何か分かるのだ4.237を知っていること=すべての国の人々5.5000種族に行くこと=地の果て | □序論\_神様は誰(パウロ)にこの(目に見えない70地教会)祝福を任せられるのか。この(使6:1-7)契約を受けた以降パウロという人物が現れた。1.使13:1-4、16:6-10、19:1-7(使2:1-47)伝道に出て行く前に答えから。霊的なセッティング2.行って福音だけ伝えたが、いやしから起こった-それも不治の病3.会堂、講堂、広場へ4.ローマへ5.イスパニヤへこういう(序論1～5)スケジュールをきちんと持っていた。□本論\_どのようにするのか1.準備(はじまり)1)絶対契約(1・3・8)について行かなければならない。2)絶対計画が見えれば、そのままついて行けば良い。(マルコ)マルコの屋上の間に起こったこと3)絶対準備をしておいたこと(12、70人)2.過程1)迫害以降(使6:1-7)さらに重要な働き人2)患難以降(使11:19-30)世界福音化するアンテオケ教会3)事件以降(使12:1-25)初代教会は始まりをしてしまったこと3.結果1)使19:21 2)使23:11 3)使27:24ここに参加したすべての重職者は時代的な答えを受けた。□結論\_なぜ1.ロマ16:25　 2.ロマ16:26 3.ロマ16:27隠されたことこの(結論1～3)三つの特徴は何か。隠されたことを与えるということ |
| 2023第1,2,3 RUTC答え25(8)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net |
| 2023年2月19日　週間祈りカード |
| △区域メッセージ（第８週）時空超越25の答え(使1:3) | △聖日1部礼拝主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます(使16:31-40) | △聖日2部礼拝/237宣教委員会献身礼拝会堂と広場(使17:1-9) |
| 時空超越と25の答えは可能なのか。イエス様は「あらゆる国の人々に行きなさい」「天と地のいっさいの権威がわたしに与えられている」「万民に行きなさい」と言われた。おばあさんひとりが孫娘に神様があなたとともにおられると言ったが、その話を聞いて世界を変えた人物がクロスビーだ。この答えを分からなければ、イエス様が神の国のことを40日間説明されたことも理解できない。□序論\_世界福音化1.すべての民族　　2.万民　　3.地の果て△これでなければ、どのようにすべての民族、万民、地の果てが当時に可能だったのか。□本論1.条件1)三位一体の神様-三位一体の神様は時空超越される存在だ。今でもみことばによって創造の働きで、救いの働きで、目に見えない聖霊の働きで私たちとともにおられる。2)みことば-私たちはできないが、神様のみことばによってできる。3)祈り-私たちはできないが、祈りはできる。2.神の国1)プラットフォーム・見張り台・アンテナ-人々が来るしかないプラットフォーム、光を照らすといやされるしかない見張り台、神様のみことばと神様と通じるしかないアンテナが、私たちの中に臨む。2) 3・9・3 -御座の祝福が現れて、世の中の人が知らないことが起こる。3) 天の軍勢、御使い-この働きが起こる。4)答え、更新、機会-この祝福を受けて見ると、前はすべてが問題だったが、答えで、更新で、困難が機会だ。3.世界福音化-RT 7このときから、時空超越する世界福音化が起こる。私たちの基準は伝道が一番簡単なのだ。その答えが「RT 7人」だ。-これは祈りの答えを一番たくさん受けたダビデがした話だ。「御使いたちよ。みことばの声に聞き従い、みことばを行なう力ある勇士たちよ。主のすべての軍勢よ。みこころを行ない、主に仕える者たちよ。」サウル王が見たときは、何の価値もないことばだ。私たちが礼拝して祈るとき、天の軍勢、御使いが総動員されるのだ。詩103:20-22みことば-御使い、みこころ-軍勢、礼拝-軍勢、御使い□結論1.あらかじめ(答え) -あらかじめ答えが見える。神様はすでに答えてくださっているので、祈りなさいということだ。2.いやし(根本) -さらに重要なのは、いやしが起こる。いやしは根本を治すことを言う。3.道(絶対) -次は道が見える。この道は、単に行っても良くて行かなくても良い道ではなく、絶対だ。 | □序論1.主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。私に答えがないことが問題だ。教会に行ってみれば、かえって人々の話が信仰を持たないようにさせた。このみことばを読んで、人生の重要なのを考えて祈り2.このとき見え始めた三つのこと1)この地に苦難が来る理由と三つの国-世の国、サタンの国、神の国2)福音が光ということ-私とすべての人が、やみ(創1:2)の中にいる。+キリストが光として来られた。3)御座の祝福を味わって時空超越する祈り3.このときから、私の光のやぐらを作った。-光のやぐらを作った人々1)祈りで光のやぐらを作ったヨケベデ2)ハンナ-サムエル、ダビデという人物を立てた。3)オバデヤ-エリヤ、エリシャを助けて7千弟子とドタンの町運動を起こした。4)イザヤ-イザヤの契約を握った人々がバビロンで世界福音化□本論-ルデヤ1人が作った光のやぐらを通してどんなことが起こったのか。△「私の家に来てお泊まりください(使16:15)」 -これが光のやぐらを作る始まり1.わざわい時代を止める光のやぐら1)1人が建てた小さいやぐらが世界を変える。2)光のやぐらがなければ、未信者のように生きるようになる。3)光のやぐらは今からくるわざわいを止める-AD79イスラエルの滅亡、79年ボンペイ爆発、313年ローマがキリスト教公認2.教会を生かす光のやぐら1)ピリピ教会の始まり-使16:13 「祈る場に行くとき」、使16:14「主はルデヤの心を開いて」、使16:15 「私の家に来てお泊まりください」 →世界のわざわい止めて教会を生かす光のやぐらの始まり2)パウロが宣教するのを全面的に助けたピリピ教会3)パウロが監獄でピリピ人への手紙を書いたが、ここに重要な役割をしたルデヤ△光のやぐらを作れば本当に答えが来る。答えを受ければ話さなくても証人になって、家系、職場の人々がみな生かされる。3.次世代のために光のやぐらを作りなさい1)監獄に行ったパウロ-その日の夜に賛美して祈ったが、地震が発生2)囚人が逃げたと思って自殺しようとする看守を止めて答えを与えたパウロ(使16:31) -光のやぐらを持っていれば、困難の中にいる人々が訪ねてくる。3)ローマ市民権を遅れて出したパウロ-次世代のための光のやぐらを作った□結論\_光のやぐらを作りなさい△光のやぐら作った人々が韓国を世界福音化する国にした | 光のやぐらを作りなさい。光があっても、やぐらが必須だ。どのように作れば良いのか。会堂と広場　会堂はレムナントで、広場は経済現場だ。237-見張り人　237に合うやぐらを立てれば良い。そして、やぐらを立てたということは、みなさんを見張り人として立てたということだ。落胆もせずに、たわごとも聞かずに、契約を握って答えを受けなさい。プラットフォーム・見張り台・アンテナ　答え受ければ、みなさんがプラットフォームだ。見張り人は灯をつけておいたから、それを見て見張り台と言う。暗やみに死んでいく人が、灯を見て来て、その人も、この祝福を受けるように疎通させるのだ(アンテナ)。□序論\_今までなかった教会1.次世代に伝達する- 24の庭準備1)異邦人、子どもたち、祈りの庭がない。2) 237・いやし・サミットがない。3) 24の庭がない。2.次世代が味わわなければならない-25の庭1)霊的原理-今もTrinityの神様はみなさんとともに。主の使い、御使いが遣わされて、みなさんの働きに仕える2)祈り原理-御座の祝福を分かってこそ時空超越を分かる。3)いやしの原理-滅びるしかないことを変えること3.次世代に永遠の庭を分かるようにすべき1)人間はなぜ難しいのか-暗やみ、むなしさ、混沌で、精神、心、考え、生活が分裂するのだ。だから、間違ったこと握る(執着)。そこに陥ってしまう(中毒)2)ネフィリムの12戦略にみな陥ってしまった3) 237と次世代にTalentを発見させること。Heavenly Talent奪い返すべき。私たちはThrone's Talentを回復すること。□本論\_光のやぐらを伝達すべき1.過去の暗やみの中にいた人々に1)強大国とすべての国はサタンの奴隷　2)捕虜　3)属国になっている。2.今日の暗やみ文化を変えるべき1)パウロが自らの規定(序論)のとおりに2)三つの安息日-多民族、RTどの期間いて戻って行くのか知るべき3)そこで、キリストの当為性説明3.未来の暗やみをこわすように1)広場へ　2)ここで出てきた人物がギリシヤ人、貴婦人3)そこでヤソンのような人物が出てきた。□結論\_光のやぐら再生産させなさい。1.テサロニケ教会は信仰の模範になった。-モデル2.カラーが重要-原色でなければならない。(Iテサ1:3)1)信仰は-働きが起こる。2)望みがある人-忍耐することができる。3)愛する人は-労苦することができる。3.方法-Iテサ1:5力と聖霊の強い確信によって |